

# てっこうきでん

TEKKOKIDEN

(一社)石川県鉄工機電協会  
TEL (076) 268-0121  
URL <https://www.tekkokiden.jp>  
題字/名誉会長 中村 健一

## 『躍動』

謹んで新春のご挨拶を申しあげます。能登半島地震と奥能登豪雨による被災地の復興を心よりお祈りいたします。

2025年は、戦後80年の歴史の節目として諸問題の解決が期待されましたが、中東や欧州などの地政学リスクは残り、米国による関税政策が世界経済を翻弄し、排外主義や複雑性が増した年となりました。しかし不確実性はやや緩和され、現時点では高関税下でも当初懸念された貿易失速や景気後退ではなく、米国経済は底堅く推移しています。今後は価格転嫁や雇用情勢による影響や地政学的緊張の高まりなど未だ海外経済リスクは不透明といえます。

日本経済は、高市内閣による補正予算が18.3兆円で成立し、2026年はこの経済政策の成否がカギを握るといわれます。日銀短観では、世界的なAI関連需要も追い風となり大企業・製造業の景況感が小幅に改善する見通しで、7~9月でマイナスとなったGDPも持ち直し、緩やかな回復が予想されていますが、今後の日米の金利政策によって為替変動を注視していく必要があると思われます。

本県鉄工機電業界は、依然として原材料やエネルギー費の高騰に加え、人件費のコスト高など懸念材料が多く、特に人手不足は、日本の全産業における構造的課題として深刻化しており、協会DI調査では「受注不安定」とともに「人材不足」が企業経営上の悩みとなっております。昨年4月の採用実績は3年連続で充足率が7割を切っていることはご承知の通りです。

我々ものづくり業界では「現場が人を育てる」が先人からの共通認識ですが、AIやロボティクスの活用、DX(デジタル変革)などを通じて自動化・省人化による時代の変化に対応する適応力も求められています。先行き不透明な社会だからこそ柔軟な対応が勝ち筋であり、私たち経営者は、グローバル競争時代において経産省が推進するCX(コーポレート変革)の旗振り役として、強い産業基盤を構築していかねばなりません。

政府には、昨年11月の「地域未来戦略本部」設置を通して、地方で世界をリードする先端技術やビジネス創出を目指す地方創生の実現に向けた力強い経済政策の実行を、また県には、「石川県成長戦略」の推進を通して、県内の基幹産業として中堅・中小企業の発展に向けた一層の支援を要望していきます。

当協会をいたしましても、人材育成・確保の支援や、自動化・省力化による生産性向上の取り組み支援、MEX金沢2026の開催など、各種事業に積極的に取り組み、会員各位が抱える諸問題解決に向けて速やかに対応してまいります。地域経済発展の原動力となるべく、会員一同が切磋琢磨し、業界が躍動する年を目指して行く所存でございます。引き続き皆様方のお力添えをお願い申しあげますと共に、各位のご健勝を祈念し新年を迎えてのご挨拶いたします。

## 【CONTENTS】

新年会長あいさつ	1	広報・情報委員会視察会(東京都)	4
第61回功労者・永年勤続者表彰式	2	経営技術・人材委員会先進地視察会(埼玉県)	4
協会トピックス		新分野・環境講演会	4
第3回正副会長・委員長会議の開催	2	国際委員会講演会	5
海外展示会出展	3	モノづくり人材育成対策事業	5~6
ロボットSI基礎講座	3	令和7年度 研修スケジュール・協会スケジュール	6
産業用ロボット特別安全教育研修	3	DI調査結果(R7.10~12月期)	7
第1回デジタル化推進サポートスクール	3	青年部会だより	8
MOT先進工場見学会(香川県)	4	会員企業トピックス・会員情報	8

(別紙)延滞による機械設備貸与制度のご案内

MEX金沢特別企画「未来のキカイ」アイデアコンテスト

回  
覧



## 第61回功労者・永年勤続者表彰式

11月17日（月）、石川県地場産業振興センターにおいて「第61回功労者・永年勤続者表彰式」を開催し、受賞された功労者表彰6名、勤続30年表彰61名、勤続20年表彰78名、勤続10年表彰83名の計228名の方々に表彰状と記念品が授与されました。濵谷会長は式辞の中で「『モノづくりのエキスパート』として、本県ものづくりの発展に多大な貢献をされてこられたみなさんの熱意とご功績に対し、衷心より敬意を表しますとともに、これから次世代の業界を背負って立つ後進へのご指導にもご尽力を賜りたくお願い申し上げます。」と感謝の言葉を述べられました。また、馳知事からは「長年にわたり機械産業に従事し、石川県のものづくりを支えていただいたのは皆様おひとりおひとりのお力であります。機械産業は高い技術力を持ち、県内製造品出荷額7割を占める基幹産業へと発展してきました。今後も、皆様には誇りをもって勤務に邁進し、豊富な経験を後進の育成に活かしてほしい。」と激励のお言葉をいただきました。なお、来賓を代表して安居県議会議長、村山県市長会長（金沢市長）代理の新保副市長からご祝辞をいただきました。終わりに受賞者を代表して（株）山本製作所の三宅 正秀さんが「モノづくり業界のより一層の繁栄と石川県の成長・発展に貢献できるよう全力を尽くしたい」と謝辞を述べられました。

なお、表彰式に先立ち記念講演会を行い、（一社）日本ほめる達人協会 特別認定講師の横山 美樹氏より「今日からあなたも『ほめる達人！』～ほめ脳で人と組織を活性化～」と題して、グループワークを交えながら、「ほめること」が人と組織を元気にする力であることについてわかりやすくお話しいただきました。



## 協会トピックス

### 第3回正副会長・委員長会議の開催

開催日：令和7年12月12日（金）

場 所：ホテル日航金沢

参加者：12名

第3回会議が濱谷会長、副会長1名、委員長7名参加のもと開催されました。

来る1月9日に予定している、知事及び金沢市長への令和8年度予算要望の内容についてご意見を頂きました。

「金沢に高度専門人材の新たな養成施設を整備する」「既存の工業高校の建屋や設備をより魅力あるものにする」「工業高校でも進学クラスがあり、その半分が文系に流れ、理系離れが進んでいることは問題であり、インターンシップなどでは正する取り組みが必要だ」「能登では復興の道半ばだが、人口減少が止められず、人の採用は非常に深刻であり、復興後のグランドデザインを県に示して欲しい」「県の企業立地促進補助金について、『増設20億円以上』とハードルが高く、しかも『建て替えは対象外』。また、創造的産業等立地促進補助金についても対象要件が厳しいので緩和してほしい」等の様々なご発言がありました。本日のご意見等を踏まえ、要望書の作成を進めることになりました。



## 海外展示会出展

展示会名: Vietnam Industrial & Manufacturing Fair 2025

開催都市: ベトナム・バクニン省

会期: 令和7年11月5日(水)~7日(金)

会場: Kinh Bac Cultural Center

来場者数: 18,739名

出展企業: 6社 (アサヒ装設株、株江沼チエン製作所、

小松電気化学工業株、大同電磁工業株、

東亜電機工業株、株徳野製作所)



VIMF2025(バクニン)は、ベトナム北部最大の産業見本市の一つとして、高い注目を集めている展示会であり、協会として初出展致しました。出展企業からは、実際に商談まで発展することはなかなか難しいが、現地の景況感やニーズなど、生の声を自ら聞ける貴重な機会であり、今後も出展していきたいとの声があがりました。

## ロボットSI基礎講座

開催日: 令和7年11月19日(水)~21日(金)

場所: 石川県IT総合人材育成センター

参加者: 15名



ロボットシステムインテグレーション業務においてどのような知識が必要とされるかを学ぶため、座学研修を行いました。自動化のための基礎となる生産技術や安全の知識の習得、機械設計・電気制御・ロボット制御といったエンジニアに必要とされる知識についての講義、グループワークにてロボットシステムの構想設計等を3日間で行いました。受講者には(一社)日本ロボットシステムインテグレータ協会より、修了証とロボットSIerの基礎知識保有者として公式エンブレムが交付されました。

## 産業用ロボット特別安全教育研修

開催日: 令和7年11月26日(水)~27日(木)

場所: 正田産業株金沢ロボットセンター

参加者: 11名



労働人口の減少を背景に、産業用ロボットの導入が進んできているなか、産業用ロボット特別安全教育研修を行いました。

1日目は産業用ロボットに関する知識と教示等の作業に関する知識、2日目は関係法令と実際にロボットの動かし方を学びました。

受講者には中央労働災害防止協会の認定を受けた正田産業株のインストラクターより、産業用ロボット特別安全教育修了証が交付されました。

## 第1回デジタル化推進サポートスクール

開催日: 令和7年11月25日(火)

場所: 岡田研磨株津幡工場

参加者: 31名



今年度1回目となるデジタル化推進サポートスクールは、岡田研磨株の津幡工場にてデジタル化・システム内製化についての取り組みをご説明いただきました。

社内の体制を変えるためにタブレットを導入し、デジタル化へ向け社内環境も整えるなど、様々な取組みを経験されたからこそ話せる具体的な事例を知ることができました。

AIやChatGPTを使う良い点や限界点など参加者にも分かりやすい説明が多く有意義な時間となりました。

## MOT先進工場見学会（香川県）

開催日：令和7年10月9日（木）～10日（金）

視察先：（株）香西鉄工所

意見交換会：四国産業人クラブ

参加者：9名

（株）香西鉄工所は鉄鋼加工を得意とし、「人とのつながりを大切にし、情熱をもって未来へ向かって挑戦し続ける」を経営理念とする企業です。

高い溶接・加工技術と豊富なノウハウを基盤に、ラフテレンクレーンなどの建設機械基幹部品の製造、独自技術による製缶溶接、香川県内トップクラスの設備による大型機械加工、産業機械・鋼構造物の設計・製作・据付、および製品の量産化に対応しています。



特に溶接技術に強みを持ち、世界初の中性子発生装置開発実績があり、社内の「溶接道場」での技術伝承・人材育成にも注力しています。

見学終了後は四国産業人クラブの方々と意見交換会を開催し、親睦を深めました。

## 広報・情報委員会視察会（東京都）

開催日：令和7年10月15日（水）～16日（木）

視察先：清水建設（株）「温故創新の森 NOVARE」、JAL SKY MUSEUM

参加者：11名



創業から222年を迎える清水建設（株）の資料館等を「温故創新の森 NOVARE」と称し、潮見の一角に設立。資料館や技術研究棟、旧渋沢邸など5つの施設で構成。施設そのものがショールームのような仕様で、随所に空調、レイアウト、照明にいたるまで最新鋭の技術が装備されており、快適な研究・執務オフィスでした。また、敷地内には著名な実業家渋沢栄一氏の4代にわたって使用された住居で、清水建設の2代目清水喜助が手掛けた唯一現存する建築物が移築されており、貴重な建築物は非常に見応えがありました。

また、JAL SKY MUSEUMでは最初に救命胴衣の着用を体験。また格納庫では、徹底的な点検の実施や飛行機の構造の説明があり、いかに安全を担保しているか、またスタッフの対応や、見学内容からも広報活動においても力を注いでいることを感じました。

## 経営技術・人材委員会先進地視察会（埼玉県）

開催日：令和7年10月29日（水）～30日（木）

視察先：トラスコ中山（株）埼玉プラネット、ものづくり大学

参加者：16名



トラスコ中山（株）埼玉プラネットの倉庫内は分野別、材料別に分けられておらず、雑多に置かれているイメージですが、全ての商品がバーコード管理されており、オートストア・パレット自動倉庫・AMR・バケット自動倉庫・電動式パレットラック・バトラー・AGV等の自動機械を駆使し、日々商品を送り続けています。また、出荷については、I-Pack（高速自動梱包出荷ライン…24人分の梱包作業）を活用するなど、61万のアイテムから年間約600万個のスピーディな出荷が行われています。

ものづくり大学は情報メカトロニクス学科、建設学科のみであり、各学科にコースが設けられており、専任教員が39名に対して、非常勤講師が335名と、プロから直接教わることができることが特長とのことでした。

## 新分野・環境講演会

開催日：令和7年11月5日（水）

参加者：26名

テーマ：協働ロボットと産業用ロボットの最新適用事例

講 師：ファンック（株） ロボット研究開発統括本部 技師長 滝澤 克俊 氏



世界の産業用ロボットの稼働台数は2024年に約466万台に達し、これは2019年比の約2倍です。産業別では、電気・電子、自動車がトップで、食品や金属・機械も顕著に伸びています。また、協働ロボットの設置も2000年頃から増加傾向であり、今後ますます増えると予測されています。

近年、ロボットは様々な加工方法や加工物の大きさに対応可能となり、さらにAIやVRなどの先端技術と融合が進んでいます。こうした進化は、今後さらに加速する人手不足に対する有力な解決策であり、これからの産業活動の維持・発展において、ロボットのさらなる活用が重要なことでした。

## 国際委員会講演会

開催日：令和7年11月18日（火）

参加者：（リアル）21名（Web）13名

テーマ：トランプ関税後のASEAN貿易環境とサプライチェーンへの影響

講 師：ジェトロ海外調査部アジア大洋州課 課長代理 田口 裕介 氏



トランプ関税2.0後、ASEAN各国は米中対立の中、投資誘致とともに、得意分野を活かした連携で地域全体の発展を目指しています。日系企業は効率性重視（Just in Time）から柔軟性（Just in Case）を重視したサプライチェーン強靭化・多元化への転換を進めている中、**中国企業との競争激化、原産地規則の厳格化、サステナビリティ要求への対応**が今後の重要課題となります。

質疑では原産地証明に関する質問がありましたが、明確な運用ルールは未定であり、各国が米国と調整中とのことです。

## モノづくり人材育成対策事業

### ★高校教員工場見学会

県内高校の進路指導担当教員に地元のモノづくり企業を知ってもらうことを目的とした工場見学会及び意見交換会を県教委と共に開催しました。

意見交換では数名の班に分かれ、意見交換しました。参加した教員からは「いろいろな職種でも、文系や理系があまり関係なくなってきたと思った」「各企業とも新入社員の適性に応じて、数ヶ月かけて丁寧に指導していることを知った」、意見交換会に参加した企業からは「各高校の教員から現状を直接聞く良い機会となった」などの感想をいただきました。



開催日	地区／人数	見学先	意見交換会参加企業数
11月 27日（木）	能登地区／19名	福井鉄錠（株）能登工場	4社
12月 3日（水）	加賀地区／17名	東亜電機工業（株）小松工場	4社
12月 4日（木）	金沢地区／26名	（株）北都鉄工	6社

### ★普通科高校生工場見学会

開催日：令和7年12月2日（火）

実施校：石川県立野々市明倫高等学校 2年生41名、教員8名

見学先：ホクショウ（株）、疋田産業（株）

金沢大学が工学部系の女子枠特別入試を導入したことを受け、普通高校では、「教員も生徒も保護者も、女子の工学部進学後・大学卒業後の具体的な将来像を描くことが難しい」との声を受け、開催しました。企業の女性職員から概要説明があり、見学を実施しました。



参加した生徒からは、「工業系の仕事もあまり辛くないのかなと思った。女性社員もいて休暇も充実していて、モノづくり企業にも少し興味を持てた」「社員の方が文系の方ばかりだったので文理関係なく職種の幅は広いのかなと気づくことができた」などの感想が寄せられました。

### ★工業系高校教員工場見学会

開催日：令和7年12月5日（金）

参加者：13名

見学先：日本海電化鋳造（株）

石川県内の工業系高校の教員を対象とした工場見学会を開催しました。

参加した教員からは「今回、新工場にて抜型や塗型、被せなどの作業を見せていただいた。大型のクレーンで吊上げる作業は圧巻であったが、手慣れた様子で取り扱う方が印象的であった。また、仕上げ工程や塗装工程なども見せていただき、鮮やかに塗られた製品ができあがるまでを順に理解することができた」「解説のふるいにかける際の振動や、次の機械に送る工程で粉塵の問題など、近隣住民に配慮する工夫もされていた」との感想が寄せられました。



## ★モノづくり講演会



開催日:令和7年11月1日(土)

場 所:石川県立羽咋工業高等学校

講 師:(株)西野製作所 常務取締役 西野 健吾 氏

聴講者:生徒282名、教員18名、保護者23名

西野常務からは、仕事をするうえで「コミュニケーション能力」、「創造力」、「解決力」を身につけたら良い。そのための手段の1つとして、数学を頑張ってほしい。とのご講演をいただきました。



開催日:令和7年12月11日(木)

場 所:石川県立工業高等学校

講 師:石川メッキ工業(株) 専務取締役 鴻野 健太郎 氏

石川サンケン(株) 働き方改革推進部人事課長 野村 裕樹 氏

聴講者:機械システム科2年生80名

野村課長からは大企業を鴻野専務からは中小企業を、それぞれで働くメリットやデメリットを踏まえて分かりやすく話していただきました。

## 令和7年度 研修スケジュール

※ホームページからもお申込みできます。 <https://www.tekkokiden.jp/events/school/>



### 【きでんスクール】

開催日(予定)	テーマ(1日コース)	受講料	定員
2月13日(金)	5Sで仕事のやり方を変えよう!	3,000	30
2月27日(金)	若手社員レベルUP教育	3,000	30
3月13日(金)	ネクストリーダー研修	3,000	30

開催日(予定)	テーマ(2日間コース)	受講料	定員
1月20日(火)~21日(水)	新 標準作業手順書の作り方と効果的な現場運用管理	5,000	12
1月22日(木)~23日(金)	新 製造現場改善のIE活用技術	5,000	12

## 令和7年度 協会スケジュール

開催日(予定)	内 容
会 議	

1月9日(金)	石川県知事及び金沢市長へ令和8年度予算要望
1月20日(火)	見本市委員会
1月21日(水)	総務企画委員会
1月29日(木)	令和7年度第2回理事会
2月24日(火)	広報・情報委員会

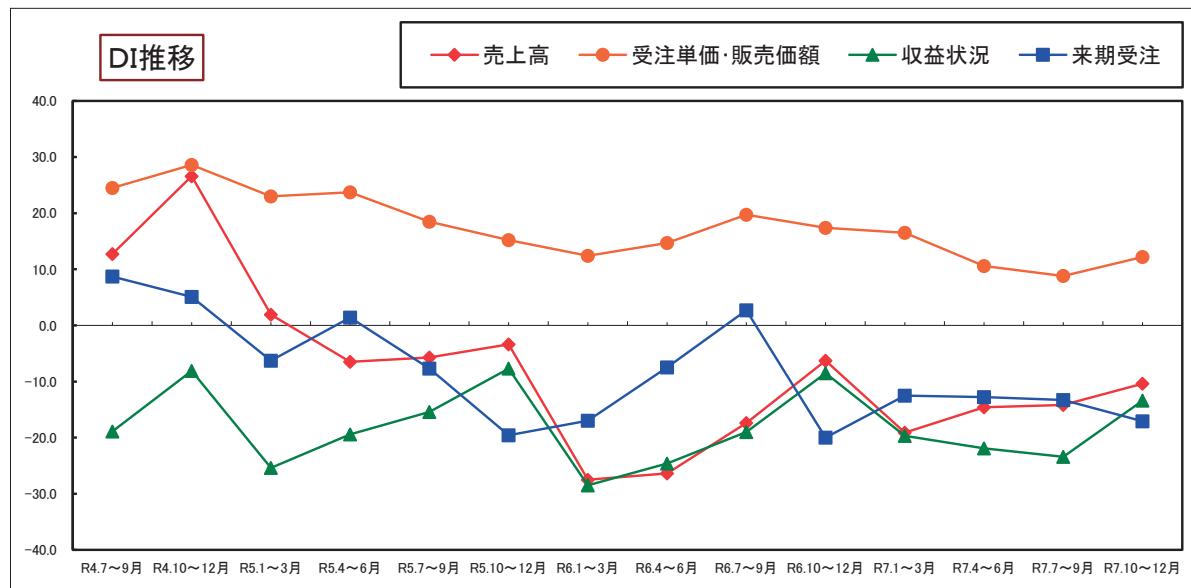
行 事	
1月26日(月)	第2回デジタル化推進サポートスクール
1月29日(木)	令和8年新年会員懇親会
2月10日(火)	MEX金沢2026出展者説明会
2月17日(火)	工業系高校優良卒業生表彰式
2月25日(水)~27日(金)	新分野・環境委員会視察会(沖縄県)

# DI調査結果(令和7年10月～12月期)

概況総括：『景況感は依然として低迷しており、停滞が続いている。

米国の関税政策の影響などにより、先行きの見通しが立たず不安感がある』

1. 今期(令和7年10月～12月期)の業況調査DI12項目では、「受注単価・販売価額」など3項目がプラス、「売上高」など9項目がマイナスとなり、7項目が改善している。
2. 現在の経営状況を示す「売上高」から「生産設備」までの9項目では、
  - (1) 景況感を端的に表す「売上高」は、▲10.4(前回▲14.2)と改善したもののマイナス圏での推移となっている。また高騰が続いている「原材料価格」も▲33.8(前回▲29.0)と上昇したが、「収益状況」は▲13.4(前回▲23.4)と改善しており、価格転嫁が進んできている事が窺えるが、依然として原材料価格や人件費の高騰が続いている、厳しい状況である。
  - (2) 現場の繁忙さを表す指標では、「操業率」▲11.7(前回▲8.8)と若干悪化し、依然として停滞感が窺える。「受注残」9.1(前回1.9)と増加したが、「生産設備」は▲0.4(前回▲3.1)と過剰となっている。
3. 来期については、「来期受注」▲17.1(前回▲13.3)と減少した。また「来期採算」▲16.0(前回▲17.0)、「来期資金繰」▲13.2(前回▲8.1)と依然としてマイナス圏にあり、先行きについては見通しがたっていない。
4. 「企業経営上の悩み」については、「受注不安定」が37.2(前回37.3)と引き続きトップとなった。「人材不足」も36.8(前回30.0)と依然として高く、新規採用が難航しており、自動化や省人化の取組みが喫緊の課題となっている。
5. 景況感は海外経済減速等の影響により依然として停滞が続いている。原材料費や人件費の高騰、長引くロシア・ウクライナ問題とともに、米国の関税政策による、欧米や中国経済への影響など、様子見の状態が続いていると思われる。先行きについても米国の関税政策の影響などにより、依然として不透明で不安感が拭えない。



## 青年部会だより

### 4府県合同研修会

開催日：令和7年10月10日（金）

開催地：富山県

参加者：71名（石川県23名）

今回は、富山県機電工業会青年部会の創立30周年を記念して富山県での開催となりました。TSK(株)、(株)ユニゾーン、

ファインネクス(株)、コンチネンタル(株)といった、富山県の優良企業4社に分かれて見学させていただき、各社の特徴の紹介もしていただきましたなど、大変勉強になる研修会となりました。その後、懇親会を開催し、府県の垣根を越えた有意義な情報交換を行い、4府県の連携を強めました。



### 澁谷会長を囲む会

開催日：令和7年11月12日（水）

場所：ホテル日航金沢

参加者：28名

テーマ：「不易流行×イノベーション」

澁谷会長から「不易流行×イノベーション」と題した講演をしていただきました。異なる専門分野が交わることで新たな価値が生まれ、人付き合いが次のイノベーションに重要な役割を果たしているとのことでした。



良いものを残しつつ新しいを取り入れる“不易流行”的姿勢や、各業界のトップユーザーとのつながりの重要性が強調されました。質疑応答では、「営業の育成にあたり指導していることは？」との質問に対し、ニーズを見極めるヒアリングと専門家とのネットワークが、より高い提案力につながると答えられました。その後、懇親会が行われ、参加者間の親睦が深められました。

## 会員企業トピックス

### ◆秋の叙勲

令和7年秋の叙勲で、当協会会員の米川 達也 氏【(株)白山代表取締役社長】が旭日単光章を受章されました。

### ◆金沢市経済活動賞

令和7年度金沢市経済活動賞を、当協会会長の澁谷 英利 氏【澁谷工業(株)代表取締役社長】が受賞されました。

## i 会員情報

令和7年12月15日までにお寄せ頂いた内容を掲載しております。

### ◆代表者の変更

会社名	新代表者	会社名	新代表者
(株)ISSリライズ金沢営業所	阿部 聰	北陸KTCツール(株)	小笠 雅紀
FJUTプラス(株)笠島事業所	宿谷 明史	北陸プレス工業(株)	来丸 裕人
(株)ケージーテクニカル	野村 考平	松本機械工業(株)	松本 晶久
(株)根上シブヤ	関戸 秀一	丸文通商(株)	土谷 達昭

組合名	新代表者
石川県機械工業企業年金基金	石野 晴紀

### ◆社名変更

新社名	旧社名
(株)茶谷GEAR	(有)茶谷鉄工所

### ◆住所変更（住所表示変更）

会社名	新住所	TEL/FAX
(株)ウニック	白山市松本町2513番地	076-227-9066/076-235-9166
泰和ゴム興業(株)	金沢市問屋町3丁目22番地	076-237-5661/076-237-6227
(株)茶谷GEAR	白山市旭丘1丁目11番地	076-274-2001/076-274-2065